



大樹

岩田小学校だより No. 19

令和2年12月7日

学校教育目標

「笑顔いっぱい 夢いっぱい」

大樹祭 ありがとうございました

11月28日の大樹祭は、保護者の皆様、地域の皆様に、コロナ感染症防止の対応に御協力いただきながら、無事に実施することができました。御理解と御協力をいただいたことに感謝申し上げます。また、学級懇談会への御出席もありがとうございました。

大樹祭午前の部では、各学年の特色を生かした表現を見ていただきました。当日まで、各学級では、子どもたちが主体になり、みんなに伝えたいことは何か、どんなふうに伝えるとよいかということ話し合ったり試したりしてきました。当日の発表も含め、それまでの過程を振り返り、子どもたちが学んだことや気付いたことを確認し、今後の学習や学校生活に生かしていくようにします。

子どもたちの発表前・発表後の振り返りの一部を紹介します。

【大樹祭前日の6年生の振り返りより】

- ・発表する内容や構成を自分たちで考えたり、どこが悪いのか、何を变えればいいのかを話し合ったりしたので、きっといい発表になると思う。また、今までにない修学旅行について発表することで、だれでも分かる楽しい発表になったり、自分たちが修学旅行に行きどう思ったかを発表すると、発表を聞いている人も、ぼくたちと同じように修学旅行に行ったような気分になったりするのではないと思う。

【1～6年生 発表後の振り返りより】

- ・家でも、せりふの練習をした。本番では、じょうずにできてよかった。
- ・友達が「こういうのは、どう？」とシナリオを考えたり、「ここは、こうの方が、お客さんにも分かりやすいよ。」と、アドバイスしたりしていたところがよかった。
- ・他の学年の発表では、クイズにしてみんなの知らないことを教えてくれてよかった。
- ・練習では、みんなの意見を聞いて、みんな、集中して取り組んでいた。
- ・みんなに声を掛けて、昼休みにも練習を頑張った。
- ・6年生が、長野県の魅力を伝えてくれたり、長野県の人に磐田の魅力を伝えてくれておもしろいと思った。6年生の発表のときのジェスチャーをまねしていきたい。
- ・6年生の合奏は、みんなの息が合っていてすごかった。みんなの心を一つにしていたんだと思った。私も、合奏のとき、みんなと息を合わせてきれいな合奏にしたい。
- ・1年生の発表は、息が揃っていて、楽しさが伝わってきた。
- ・何を言っているのか、見ている人が分かるように、言葉をゆっくり言えるように頑張った。
- ・練習のとき、「もう一回やってみよう。」と声を掛け合っていてよかった。
- ・本番直前まで、どうしたらもっとよい表現ができるかを、みんなが考え、話し合えてよかった。
- ・いろいろ、みんなですることが、おもしろくて、楽しかった。
- ・みんなと、「こうの方がいい。」と、声を掛け合ったり、失敗したときは、「どうする？」と考え合ったりして表現を高めることができた。
- ・ぼくができるようになったことは、みんなと声を掛け合って一生懸命、集中してやるということ。うまく伝えることもできるようになった。友達のいいところも見つけた。
- ・「ここは、もっと大きい声の方がいいんじゃないかな。」「ジェスチャーを入れたら、いいんじゃないかな。」等、たくさん話し合い、三回目・四回目・・・と数を重ねると、発表がよりよいものになっていった。



全校合唱「しあわせになあれ」 弓削田健介 氏の「いのちと夢のコンサート」のときも、全校で弓削田さんと一緒に歌ったすてきな歌です。やさしい、やわらかな歌声が体育館に響きました。この曲は、今後も、歌い継いでいきます。

親子ふれあい講座への御参加、ありがとうございました

今年も、講師の皆様、地域の皆様のおかげで、講座を開くことができました。心より感謝申し上げます。

保護者の皆様には、子どもさんと一緒に活動へ参加していただき、ありがとうございました。

大樹祭【午前：学年の発表 午後：親子ふれあい体験講座】について、感想やお気付きの点等、切り取り線以下に御記入いただき、お知らせください。次年度の参考にさせていただきます。

切り取り

大樹祭【午前：学年の発表 午後：親子ふれあい体験講座】について

年 子どもの名前()

12月11日（金）までに担任へ御提出ください